

こっとり 2

「こっとり」は、おうちで過ごす時間をテーマに、思いついたことを綴ったニュースターです。

ケアと遊びのことを、おうちで頑張れない2人でお送りします。

4ヶ月から6ヶ月の赤ちゃん

ねんねをしてもキョロキョロと辺りを見渡すことが増えてきて、おうちの人も何か新しい刺激が欲しいのかしら？と思いはじめ頃です。頭を動かせるのは首が座ってきたサインです。抱っこをしても左右上下と好きなところを見ることができるようになってきます。

目だけを動かして見ていた世界から首を動かして見る世界へのステップアップは、赤ちゃんにとって心躍る出来事です。だって自分の力で広い空間を捉え、そこにはたくさんの新しいことが待っているのですから！試しに目だけの動きから首の動きへの変化をおうちの人も体験してみてください。赤ちゃんの大きな変化を感じることができすよ。

首がしっかり身体と繋がってくると、腹ばいの姿勢でも頭をもたげて頑張ります。胸のあたりで身体を支えていた状態から、重心がだんだんとお腹の方に移っていきます。肩や肘も身体の前に出ることでより安定し、身体を支えることに気を取られずに、周りのものに興味津々になっていきます。そんな時に目の前に楽しそうなおもちゃがあったり、おうちの人の姿があったら、身体をよじって手を前に出したいかなでしょう。そのジタバタと試行錯誤する姿を応援したくなります。おとなはせっかちで、ついもっともつとおもちゃを遠ざけてしまいがちですが、欲しいものは手に入る方が次の頑張りに繋がるんじゃないかなと思いますよ。

気をつけたいことがひとつ。首がしっかりするとお座りをさせたいと思うのですが、それはもう少し先にとっておきましょう。身体への負担がまだ大きいので、お座りははいはいの頃かそれ以降のお楽しみです。お座りを助ける道具を使うことのはできるだけ短い時間にとお勧めします。

首と身体が繋がると、手足の動きがダイナミックになってきます。仰向けの時は頭から背中の中の中心だけを支えにして、手で足を掴んで遊んだり舐めたりもします。特に手は「自らつかむ」ことの喜びに溢れ、つかんでは舐めを繰り返します。「つかむことができる」こと、「それが何か確かめるためにお口に乗る」ことは赤ちゃんにとって幸せな学びです。

おとなにはありふれた日常も、赤ちゃんにとっては発見に満ちた新しい世界です。目が輝く瞬間に出会えたら、その喜びをお裾分けしてもらって下さいね。

Maruyama Machiko (しずかなおうち きなり)

子どもの楽しみ

起き上がり人形・キャスパー



ゆらゆらゆれる起き上がりこぼしです。腹ばいのあかちゃんが手を伸ばし、ふと触れると、揺れてコロコロと軽やかな音がします。おもりが入っており、お人形は自分で起き上がってくれるので、嬉しくて何度でも触りたい赤ちゃんも、しばらくひとりで遊べます。お人形の部分は布製なのでごっつんこしても安心。

リングリィリング



ネフ社のラトル(ガラガラ)です。まだしっかりと握れなくても、指がひっかかれば持つことができます。軽くて持ちやすく、はじめてのラトルにオススメです。振るとリングが触れ合って、カラカラ軽く優しい音がします。リングをお口に入れて、なめたりカミカミしたり。心地よさそうです。

大人の楽しみ



トランスパレントのお星さま

光を通すトランスパレントという紙を折って貼りあわせると、素敵なお星さまになります。

窓に飾ると、光を通し、紙が重なった部分には新しい色が現れます。作り方はとても簡単。シンプルなものなら5歳位からできるので、上のお子さんと一緒に作ってみても良いかも。小さめをいくつか作ってモバイルに仕立てるのも素敵です。抱っこされていろんなものを見せてもらうのが大好きな赤ちゃんも、きれいな色にきっと喜びます。

できあがりを楽しみに静かに紙を折る作業は、大人にも手軽な気分転換になりますよ。

krtek select toys : Yokoyama